

令和8年度 第1回美里地域会議 会議録

日時：令和8年4月9日（木）19時～20時30分

場所：美里交流館 2階 中会議室

出席者：＜地域会議委員＞加藤 智江、小林 健一、清水 幸男、鈴木 智映子、
鈴木 美喜世、高橋 重樹、手嶋 英之、野村 耕一、
原 淑子、吉本 勝、渡邊 慎大

（欠席）なし

＜高橋支所＞ 前田支所長、太田副支所長、河野主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 高橋支所長挨拶

3 委嘱状交付

委嘱状を高橋支所長から各委員へ交付した。

4 自己紹介（地域会議委員・事務局）

5 地域会議と委員の役割などについて

（1）地域自治システムの概要説明

- ・地域会議および地域課題解決事業の概要について、事務局より説明を行った。
- ・地域会議委員の身分および選挙運動の制限について、事務局より説明を行った。

（2）令和8年度美里地域会議の進め方について

- ・令和8年度の美里地域会議では、令和7年度に実施した高齢者実態調査の結果を踏まえ、市長への提言および課題解決に向けた事業案を検討していく。会議の進め方や内容について委員から意見を募り、以下の意見が挙げられた。

【意見一覧】

- ・地域独自で進められる事業は、市を通すと時間を要するため、可能なものは地域主導で先行して実施してもよい。
- ・ヒアリング調査などで深掘りした「困りごと」や「地域でやってみたいこと」は特に重要であり、まずこの分野から検討するのがよい。
- ・地域には高齢者クラブ、自治区、民生委員・児童委員、コミュニティ会議など様々な団体がある。地域会議がこれらの団体と適切に連携しないと、地域会議だけが空回りする可能性がある。事業決定後に情報共有しても、各団体が極力してくれるか不透明であるため、地域会議と地域団体の関わり方を考えていく必要がある。
- ・状況が似ている他地域（特に高橋、益富）の実施事業の情報があると、事業検討が進めやすい。
- ・事業決定後、その実施期間や効果などの進捗・結果を委員へ情報提供してほしい。
- ・元気な高齢者をどのように活用するかが重要である。
- ・今後、課題および解決策の重要度・優先度を検討するにあたり、事務局で分類等を整理した上で委員に提示してほしい。
- ・今期の委員には地域団体で活動している方が多いため、それぞれの経験を生かし、

地域の強み弱みを考えていけるとよい。

- ・ 困り始める前の元気な高齢者との関わり方を重視すべきである。地域会議として、地域住民に向けて各種団体や制度を紹介する場を設けるのもよい。
- ・ 要介護認定者の家族に話を聞くことで、実際の困りごとが把握できる。
- ・ 困っていない高齢者が困っている高齢者を支える仕組みも考えられる。そのような人をどう巻き込むか検討するとよい。
- ・ 高齢者が「困っていない」という場合でも、実際には我慢している可能性がある。

6 地域会議会長等の選考について

会長・副会長について、委員の互選により以下のとおり決定した。

役職	主な役割	人数	委員名
会長	地域会議の代表	1	野村 耕一
副会長	会長の補佐及び会議進行	1	加藤 智江

7 事務連絡

(1) 次回の開催について

地域会議の開催日程について、事務局とり「毎月第2木曜日の19時～」を提案し、委員の合意を得た。

【令和8年度 第2回美里地域会議】

- ・ 日時 令和8年5月14日（木） 19時～
- ・ 場所 美里交流館 2階 中会議室

(2) その他連絡事項

① 定例会の資料について

資料は定例会の約1週間前に郵送またはメールにて送付する。

② 費用弁償について

地域会議に出席した場合、豊田市地域自治区条例に基づき、1日1,000円を費用弁償として支給する。費用弁償は3か月ごとに振り込む。